

科目名称 (Course Title)				担当教員 (Instructor)	
アカデミックスキル II				A 平野/井上 B 矢口/中尾 C 芦田/星	
				D 谷口/加藤 E 杉岡/三好	
				F 佐藤充/齋藤 G 江上/神谷	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
後学期	1 単位	1 年次	演習	有 (連絡済)	
授業の概要 (Course Description)					
<p>本演習では、大学で勉強・研究を進めるうえで必要となる基礎的なスキルの中でも、特に文章作成およびプレゼンテーションの方法について学修する。文章作成については、基本的な日本語表現に加えて、パラグラフ・ライティング、論理的展開をふまえて文のつながり、レポート等の学術的な文書の基本的な構成等について解説するとともに、課題に取り組みながら実践的にその能力の獲得を目指す。プレゼンテーションの方法についても、発表用スライドの全体構成や、見やすいスライド資料の作り方等についての解説をふまえながら、実践を行っていく。</p> <p>特に、「アカデミックスキルズII」では「アカデミックスキルズI」で学修した内容をふまえて、学術的な文書を講読し、その要約を繰り返しおこなうことで、学術的な文書の構造をより具体的に学んでいく。</p>					
授業の到達目標 (Course Objectives)					
<p>①論理的な文章構造をふまえた上で、文章を作成することができるようになる。</p> <p>②聞き手の立場をふまえた上で、分かりやすい発表用資料を作成することができるようになる。</p>					
授業計画 (Course Schedule)					
第 1 回	<p>※主に以下の流れで授業が計画されているが、詳細についてオリエンテーション時に各クラスごとに提示する。</p> <p>※基本的には、第1回はオリエンテーション</p> <p>2回以降は各クラスで、(対象課題の調査、レポート作成等)を以下の各単元について解説→演習を交互に実施していく。</p> <p>第 7 回 演習テーマの背景調査 参考論文講読・論文の要約</p> <p>第 8 回 目的の設定・方法・結果・考察等のレポート作成</p> <p>第 9 回 各自のレポートに対して受講生同士のレビュー</p> <p>第 10 回 発表用原稿・スライドの作製(クラスによっては地域経営演習 I・IIの演習テーマ等を題材とすることもある)</p>				
第 2 回					
第 3 回					
第 4 回					
第 5 回					
第 6 回					
第 7 回					
第 8 回					
第 9 回					
第 10 回					
第 11 回					
第 12 回					
第 13 回					
第 14 回					
第 15 回					
授業時間外学習 (Supplementary Activities)					
<p>授業時に提示する課題をもとに、各自授業時間外学習を行うこと。詳細については授業時に提示する。</p>					

成績評価の方法と基準(Grading)		
評価方法	(割合)	評価基準
授業への貢献度 小課題・レポート	(50%) (50%)	<ul style="list-style-type: none"> ●授業への取り組み姿勢：出席状況、授業時の発言、グループワーク時の取り組み姿勢、受講態度等を総合的に判断する。 ●小課題：授業中に提示された小課題については、主に提出の有無を重視する。 ●レポート：授業で学んだ内容をもとに、文章を書く上での注意点を十分に考慮しているかどうかの評価の基準となる。
テキスト (Textbook)		<p>【書名】</p> <p>【著者】</p> <p>【出版社】</p> <p>【出版年】</p>
参考書・資料等 (Supplementary Reading)		授業時に適宜提示する。
備考 (Other Information)		事前に提示した課題をやっていることを前提に各受講生に意見を求めることで授業を進行するため、事前連絡なしの欠席は授業の進行の妨げとなる。毎回出席することを基本とし、事情により出席が困難な場合は、事前に担当教員まで必ず届け出ること。
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)		授業時に適宜提示する。